

講師

アンデリュウ・ジッツマン

■ 学歴

1. 2008年 オーストラリア マクウォリ大学院 言語学科卒業

■ 学位

1. 2008年 修士（言語学）

■ 研究分野

1. 社会言語学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 異文化コミュニケーション
2. 初年次教育
3. 教育の変遷

■ 研究課題

1. アイデンティティの確立
2. 大学進学

■ 担当授業科目

1. エリア・スタディ II
2. グローバル英語 I
3. 専門演習 I,II
4. 卒業研究
5. 欧米文化交流 B
6. English Extension I, II, III, IV
7. 英語プロジェクト II
8. 英語コミュニケーション I,II
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【英語コミュニケーション】 |
| | このコースは、生徒の英語コミュニケーション能力を、より自然で、スクリプトのない形に向上させ |

	ることを目的としています。この目的を達成するために、このコースでは様々な社会的コミュニケーションルールを提示し、重要な練習の機会を提供します。
2.	<p>授業科目名【エリア・スタディ II】</p> <p>隣国についての知識を持つことは、国際理解のための重要なステップです。このコースでは、ASEANの国々に焦点を当て、彼らがお互いに、そして日本とどのような関係にあるのかを考察しました。</p>
3.	<p>授業科目名【欧米文化交流 B】</p> <p>このコースは、欧米文化を紹介し、対象国との交流の機会を提供することを目的としています。8月にカナダ短期留学を行いました。</p>
4.	<p>授業科目名【英語プロジェクト II】</p> <p>このコースの目的は、学生たちがディスカッションやプレゼンテーションに積極的に参加するように促すことです。様々なトピックについて調べ、説明させるために、多くのグループワークを行いました。個人発表とグループ発表では、最初の2年間で学んだいくつかのスキルを実践的に使い、クラスで自分の考えを発表したり、他の生徒が調べたことから学んだりします。</p>
5.	<p>授業科目名【専門演習 II】</p> <p>このコースでは全国プレゼンテーション・コンテストに出場しました。様々なスキルを駆使して詳しく調べ、プレゼンテーションを準備し、京都での決勝大会に臨みました。最終学年の卒業論文に向けて、とても実践的かつ教育的なプロジェクトとなりました。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1994~現在に至る	全国語学教育学会	北九州支部報告担当（2019年11月～現在に至る） 学会ビジネス・マネージャー（2006年11月～2010年11月） 学会企画担当理事（2004年7月～2006年11月）
2.			
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）					
1.	2024年1月	Climb High to the TOEIC L&R Test	共	金星堂	このテキストは、TOEICを受験する学生のためのものである。文法解説・語

					句解説などを詳細に行っており、受験しない学生にとっても英語力の増強が見込まれるよう配慮している。
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～2024年3月	学生委員	副委員長
2.	2023年4月～2024年3月	教育経費予算配分委員	
3.	2023年4月～2024年3月	教育経費予算配分委員	理事
4.	2023年4月～2023年11月	第五回 KANAME 杯	役員
5.	2023年4月～2024年3月	ESS サークル	顧問
6.	2023年9月～2024年1月	ZION Cup(スピーチコンテスト)	企画担当